



注意事項：

1. 答案依序書寫於答案卷上，不必抄題。
2. 答案卷不可書寫任何可辨別個人姓名或特殊標記，違者不予計算。
3. 請於試題紙上填寫准考證號碼，繳卷時「試題」、「答案卷」一併繳回。

※注意：

1. 問題の番号を正しく書いてから、日本語で回答すること。
2. 一の「専門用語」は**30**文字以内、二の「設問」は**400**文字以内で回答すること。

一、「専門用語」：次の専門用語を簡潔に説明しなさい。($4\% \times 10 = 40\%$)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 国内総生産 | 2. デフレ・スパイナル |
| 3. 企業の社会的責任 | 4. 公共財 |
| 5. 金融政策 | 6. 産業の空洞化 |
| 7. M&A | 8. SCM |
| 9. 成果主義 | 10. プロダクト・サイクル論 |

二、「設問」：次の質問を詳しく回答しなさい。($12\% \times 5 = 60\%$)

1. 1980年代の後半期に、日本において資産価格の高騰が起こったのはなぜか述べなさい。
2. 最近日本では円高が常に話題になっている。円高傾向が日本経済にどのような影響を及ぼすか論じなさい。
3. 日本企業の特徴は、アメリカ企業または台湾企業とは、どう違うか述べなさい。
4. 高度成長期において日本企業の強さの源泉とみなされていた「三種の神器」の利点・欠点について論じなさい。
5. 幼稚産業とはどのような産業か。またその産業を保護育成するにはどのような政策が考えられるか。

(試題完)